

戻る

ズッコケ三人組のふるさと己斐



実在の町名、名称と（文中）の施設

案内板、モニュメント地点

- 西広島駅 (花山駅)
- 不二屋 (喫茶 田園)
- 己斐小学校 (花山第二小学校)
- 旭山神社 (花山神社)
- 渡辺ストア (八谷商店)
- ハチベエ宅
- 善法寺 (妙蓮寺)
- 岡本クリニック (土谷外科)
- 己斐商店街 (花山商店街)
- 広電ストアビル (花山デパート)
- 己斐周辺の飲食街 (花山新宿)
- ともに書店 (アカツキ書店)

その他

- 太田川放水路 (大川)
- 広島 (ミドリ)
- 広島駅 (ミドリ駅)
- 広島国際会議場 (ミドリ市公会堂)
- 広島港 (ミドリ港)
- 広島観音高校 (大川高校)
- 広島市民球場 (ミドリ市民球場)
- 千田町 (大崎町)
- 広島空港 (ミドリ空港)
- 広島市民病院 (稲穂県立ミドリ病院)
- そごう広島店 (ミドリデパート)
- 福屋 (三角デパート)
- 美鈴が丘 (光が丘)
- 牛田町 (牛尾町)
- 二葉の里 (二葉町)
- 田方町 (田方)
- 大茶臼山「無縁台」 (高取山)

同一

- 紙屋町 (紙屋町)
- 大手町 (大手町)
- 袋町 (袋町)

戦後の日本児童文学で最大のベストセラー「ズッコケ三人組」は、作者那須正幹氏が生まれ育った広島市西区己斐町を舞台として描かれています。

「ズッコケ三人組」の裏表紙の見開きに書かれている地図上の地点に、実在の町名、名称と（文中）の施設があり対比しています。

2004年秋、全50巻で「ズッコケ三人組」シリーズは完結しましたが、昨年末で出版部数は2300万部を超え、その後「ズッコケ中年三人組」のシリーズが始まりました。

また、NHK教育テレビでは「ズッコケ三人組」シリーズが多年度に巨り放映されました。

那須正幹氏の著書は多数あり、「折り鶴の子どもたち」「絵で読む広島の大原」「八月の髪かざり」「広島お好み焼物語」等、広島を題材とした作品も多くあります。

現在、日本児童文学者協会会長として活躍され、また己斐の町を舞台とした新しい著書にも取り組まれています。

己斐の町はアストラムラインの延長、JR西広島駅の改築、区画整理事業等が計画されています。将来に向け「まちづくりの目標」『元気で活気があり、歴史と緑豊かな、学びのまち』として発展させたいと考えております。

「ズッコケ三人組のふるさと己斐」 会長 山崎 義彦 TEL:082-271-9955

己斐は「ズッコケ三人組」の舞台

戦後、日本の児童文学で最大のベストセラー「ズッコケ三人組」は、作者那須正幹（なすまさもと）氏が生まれ育った広島県広島市西区己斐町を舞台に描かれています。

舞台は花山第二小学校。「ズッコケ三人組」とは、6年1組のハチベエ（八谷良平）、モーちゃん（奥田三吉）、ハカセ（山中正太郎）の三人組のこと。事件や冒険、この三人組が巻き起こす（？）物語は全50巻。多くの小学校で教科書の副本としても使われ、学校の図書館や学級文庫でもおなじみの物語です。



「それいけズッコケ三人組」

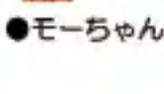
「ズッコケ三人組のミステリーツアー」

ポプラ社刊

これが「ズッコケ三人組」



●ハチベエ（八谷良平）



●モーちゃん（奥田三吉）

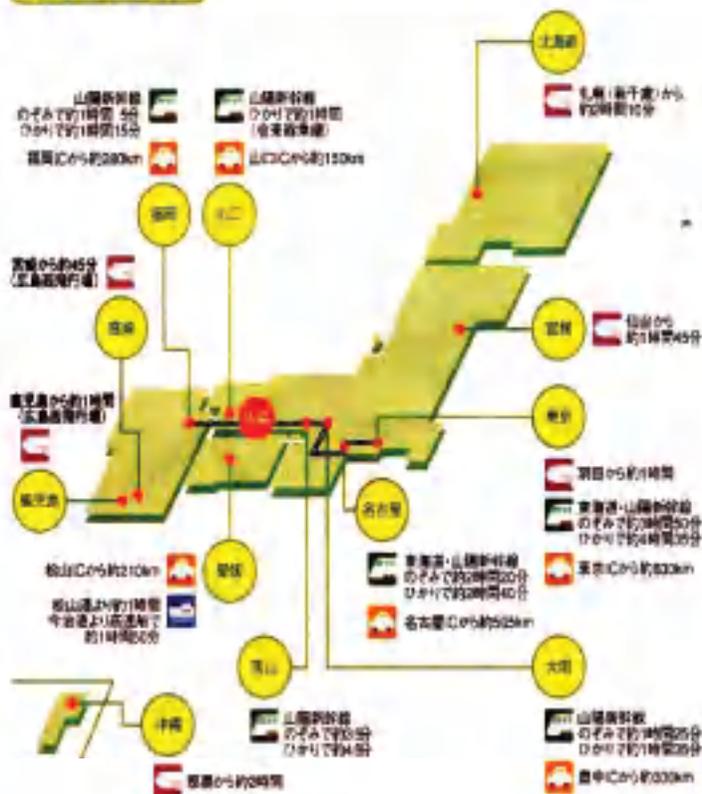


●ハカセ（山中正太郎）



©前川かずお/ポプラ社

広島へのアクセス



広島市内からのアクセス

【広島駅から】

- JR 山陽本線 岩田方面行き「西広島」下車

(所要時間約 10分)

- 路面電車（広電）2番 広電宮島口行き「広電西広島」下車

(所要時間約 35分)

【広島空港から】

- 空港リムジンバス 広島駅行き「広島駅新幹線口」下車

【乗換】JR山陽本線 岩田方面行き「広島」乗車→「西広島」下車

(所要時間約 55分)

ホームへ戻る

ズッコケ三人組の

ふるさと『己斐』

「ズッコケ三人組」の町 己斐まちあるきマップ



©前川かずお/ポプラ社 ズッコケ三人組シリーズ

ズッコケ三人組のふるさと己斐